

令和3年度 施策評価シート

1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策体系	分野	09 教育 ～地域の絆で育む学びのまち～		
	施策	38 社会教育 一温もりある人と地域を育む学びを推進しますー		
重点プロジェクト		次代を担う子どもを育むプロジェクト		
主管課	教育部 社会教育課	評価責任者	山中 昇	
		評価日	令和4年4月27日	
関連課	子育て支援課			
目標	社会教育施設は、市民の学習活動の拠点として市民の学びを支え、地域のコミュニティ形成、学習機会の充実を図ります。放課後の子どもたちの安全と安心な居場所づくりに向けて、放課後子ども事業の活動を充実します。			
施策目標の実現に向けた取組	<p>(1) 社会教育活動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域の課題などを解決するための学習支援や学習の場を提供します。 ○市民の自主的な文化活動の発表の場、交流の場としての各種事業の充実を図ります。 ○生涯学習を推進するため、地域の課題の講座などを開催し、地域に還元できる仕組みを支援します。 ○社会教育関係団体の支援・育成を推進します。 <p>(2) 放課後子ども事業の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○放課後子ども総合プランに基づき、地域の協力の下、放課後児童クラブとの連携を進めます。 			

2. 施策指標と達成状況

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策目標	指標1	指標名	図書貸出人数					
		説明	図書館の延べ貸出人数。市民ニーズに対応した施設サービスを提供する指標となるため。					
		単位	人					
	活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	243,000	246,000	249,000	252,000	255,000	258,000
		実績値	229,628	214,973	171,464	190,479		
	指標2	指標名	公民館利用者数					
		説明	公民館利用者延べ人数。市民ニーズに対応した施設サービスを提供する指標となるため。					
		単位	人					
	活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	282,400	285,800	289,300	292,900	296,400	300,000
		実績値	275,102	253,639	66,325	77,866		
	指標3	指標名	資料館入館者数					
		説明	資料館の展示などの入館者数の延べ人数。市民の歴史文化に対する周知や意識の高揚を図る指標となるため。					
		単位	人					
	活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000
		実績値	16,287	14,963	12,673	21,314		
	指標4	指標名						
		説明						
単位								
活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							
指標5	指標名							
	説明							
	単位							
活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支出	事務事業費	289,522	261,566	372,363	343,244	370,230	
	人件費	110,621	95,729	98,722	132,393	134,681	
収入	特定財源	18,380	2,657	4,495	2,259	12,916	
	一般財源	381,763	354,638	466,590	473,378	491,995	

4. 評価対象年度の施策実施内容

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する取組です。

		実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組①	ふじみ野市民文化祭運営委員会の開催	これまで2会場で開催していた市民文化祭を令和2年度から統合するため、準備を進めた。令和3年度も前年度と同様に新型コロナウイルスの影響により中止となったため、令和4年度からの統合開催に向けた準備として、運営委員会を開催し、役員の相互理解を深めた。	令和3年度ふじみ野市民文化祭運営委員会 参加部門:13部門 役員数:16人 委員会:4回開催	市民文化祭事業
取組②	市民の自主的活動の支援	にほんご教室は、平成6年にスタート。日本人スタッフ（ボランティア）の自主学习による内部研修が毎年開催されている。公民館では活動を支援するためのボランティア講座を毎年開催しているが、令和3年度は新型コロナウイルスの影響により中止した。	にほんご教室 開催数12回、学習参加者数のべ68人、スタッフ参加数のべ90人、学習参加者国籍数9か国、学習参加者外国人数26人。 スタッフ（ボランティア）数26人	成人教育事業
取組③	小学校放課後事業推進検討会	集団による密を避けることと、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から放課後子ども教室を中止としたため、学校、放課後子ども教室、放課後児童クラブ（3者）による小学校放課後事業推進検討会も中止とした。	例年、小学校放課後事業推進検討会の方針に基づき各校プログラムを作成し、放課後子ども教室、放課後児童クラブが一体化した活動を行っていたが、放課後子ども教室を中止としたため、活動できなかった。	放課後子ども教室推進事業
取組④	図書館ボランティア育成講座の開催	幼稚園や小学校で集団の子どもたちに絵本の読み聞かせをされている方を対象に、初級読み聞かせ講座を開催した。10月～11月まで全4回	合計9名の参加があった。各講座を通して幼稚園・小学校で読み聞かせ活動をしている方々を育成し、地域での読み聞かせ活動の活発化と図書館資料の利用促進を図ることができた。	図書館事業の一部
取組⑤	市民と関連団体との協働	文化財ウォーキング、福岡河岸記念館での解説事業、郷土の伝承遊びや社会科体験学習、成人体験学習等において、ボランティアとの協働事業を開催した。	ボランティアのアイデアによる企画や各種事業への協力、関連団体との協働の体制づくりに貢献した。また、文化財資料を活用した地域学習を推進し市民が文化財と触れ合う機会や入館者数の増加につながった。	歴史民俗資料館教育普及事業の一部

5. 評価

評価	
指標の達成状況	社会教育活動の支援について、コロナ禍による市民の学びの場の確保、学習機会の提供方法等が新たな課題となっている。今年度は昨年度に続き市民文化祭事業の中止が決定する中、令和4年度の開催を見据えた運営委員会を継続開催し、市民の文化活動の発表の場や多様な文化交流の場の提供が途切れることのないよう、市民活動の土台づくりとなる支援を行った。 また、市民の学習ニーズや課題解決等を支援するため、ボランティア講座の開催、体験活動の機会提供を行なった。 実施している個々の事業は学びを通じたひとつづくりなどその成果をすぐに評価することは難しいものが多いが、誰もがいつでもどこでも学ぶことが出来るよう、さらに社会教育の推進、充実を図っていく。
おおむね順調	
行政資源の活用	
おおむね適切	
取組の有効性	
おおむね有効	
施策の効果	
効果が得られている	

令和3年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		社会教育推進事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	09 教育 ～地域の絆で育む学びのまち～			
	施策	38 社会教育 一温もりある人と地域を育む学びを推進しますー			
予算費目		一般会計 10教育費 04社会教育費 01社会教育総務費			
所管部課		教育部 社会教育課	評価責任者		永倉秀雄
事務事業期間		平成17年度～	評価日		令和4年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		教育基本法、社会教育法、ふじみ野市社会教育委員設置条例			
事務事業の内容	事務事業の目的	市民の生涯学習・社会教育の推進を図るため、社会教育の現代的課題に対し調査研究、教育長からの諮問を受け答申を行なうなど、地域や市民の現状・課題を把握し社会教育行政に反映させることで、地域の教育力の向上を目指す目的を持つ。			
	事務事業の経緯	昭和24年（1949年）6月10日に制定された社会教育法に基づき、学校の教育課程として行われる教育活動を除き、主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動を推進することとして行われている。			
	事務事業の概要	定例会：年4回のほか、必要に応じ専門委員会を設置し、社会教育の推進を図る。 委員構成：15名（学校教育・社会教育・家庭教育関係者、学識経験者、市民公募） 内容：教育委員会教育長諮問にかかる答申、社会教育関係団体の補助金審査、社会教育推進施策への調査研究、入間地区社会教育協議会活動、地域課題解決学習の調査研究等 社会教育委員は、上記を行い、地域や市民の現状・課題を把握し、社会教育行政に反映させることで地域の教育力の向上を推進する。			
	令和3年度の主な取組	1 社会教育委員の会議及び専門部会 第1回定例会（6/17（木）14:00～16:30） 第2回定例会（9/28（火）14:00～15:35） 第3回定例会（2/16（水）14:00～16:10） 第4回定例会（3/14（月）14:00～15:50）			

2. 事務事業費・人件費

（単位：千円）

【支出】		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.00	1.04	1.00
		人件費	8,057	8,266	7,948
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		8,057	8,266	7,948	
事業費	報酬※	168	252	528	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	282	295	323	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	131	184	220	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	130	131	131	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	16	40	102		
支出合計		8,785	9,167	9,252	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		8,785	9,167	9,252	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		77	80	79	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員（産休代替等除く）の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	教育委員会への建議（計画、答申、調査報告）件数		
	説明	地域課題や市民の社会的課題に対する生涯学習・社会教育の役割について、諮問答申、調査報告など教育委員会に助言を行い、行政施策の方針策定の土台とする。		
活動	単位	件		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	1	1	1
	実績値	0	0	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>これからの人生100年時代には、「高齢者から若者まで、全ての国民に活躍の場があり、全ての人が元気に活躍し続けられる社会、安心して暮らすことのできる社会をつくる必要」が求められている。その重要な鍵を握るのは地域課題解決学習であり、誰もが生涯にわたり必要な学習を行い、その学びの成果を個人の生活や地域での活動等に活かすことのできる仕組みの充実が必要である。今後、人口減少など社会の大きな変化の中にあつて、住民の主体的な参画による持続可能な社会づくり、地域づくりに向けて、生涯学習や社会教育活動はこれまで以上に役割を果たすことが期待されている。</p> <p>当該事業については、地域や市民の現代的課題を社会教育委員の視点で捉え、課題解決に向けた学習機会の提供や、地域貢献活動につながる人材育成等の調査・研究、提言等活動を通し、社会教育行政の活性化と地域の教育力の向上を図っている。実施内容及び効果については次のとおり。</p>
	<p>実施内容</p> <p>(1) 社会教育に関する諸計画を立案すること。 (2) 定時又は臨時に会議を開き、教育委員会の諮問に応じ、これに対して、意見を述べること。 (3) 職務を行うために必要な研究調査を行うこと。</p> <p>効果</p> <p>(1) 行政と市民のパイプ（橋渡し）的役割となることで住民の意向を行政の施策運営へと反映することができる。 (2) 家庭・学校・地域をつなぐコーディネートの役割が果たせる。 (3) 家庭や地域の教育力向上のための直接的な貢献ができる。 (4) 地域での社会教育活動活性化のためのネットワークづくりを形成できる。</p>

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	<p>地域社会のつながりや支え合いの希薄化等による地域社会の教育力の低下や家庭教育の必要性が指摘されており、学校・家庭・地域との連携・協働が今後より一層求められる。</p> <p>社会教育委員の活動は、地域や市民の現代的課題を把握し、生涯学習・社会教育行政の施策に反映させる事業展開を図ることであり、今後も会議の内容や実施時期また、勉強会等の企画を充実させながら効率的かつ活発な社会教育活動を推進していく必要がある。</p>
中長期的方向性	
継続	

令和3年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		放課後子ども教室推進事業	前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト		次代を担う子どもを育むプロジェクト		
施策体系	分野	09 教育 ～地域の絆で育む学びのまち～		
	施策	38 社会教育 一温もりある人と地域を育む学びを推進しますー		
予算費目		一般会計 10教育費 04社会教育費 01社会教育総務費		
所管部課		教育部 社会教育課	評価責任者	永倉秀雄
事務事業期間		平成21年度～	評価日	令和4年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		埼玉県放課後子供教室推進事業実施要綱 ふじみ野市放課後子ども教室事業実施要綱		
事務事業の内容	事務事業の目的	国が推進する「新・放課後子ども総合プラン」の一環として、学校施設を活用し、放課後の子どもたちの安全かつ安心な居場所を確保し、地域の人々の参画を得るなかで、子どもたちが学習、交流、体験等の活動を通し、地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。		
	事務事業の経緯	国と県が推進する「放課後子供教室推進事業」を受け、本市においては平成21年度より開設した。平成21年度開設：西原、東台・平成22年度：さぎの森・平成23年度：駒西、三角・平成24年度：元福、東原・平成25年度：大井、西・平成26年度：亀久保、福岡・平成27年度：上野台、鶴ヶ丘		
	事務事業の概要	市内すべての小学生を対象として、放課後に小学校の余裕教室等を活用し、地域の方々が指導者として参画することで、子どもたちと共に勉強やスポーツ・文化活動を通して、地域住民との交流活動の取組みを推進する。 市内各小学校で毎週1回実施している。		
	令和3年度の主な取組	新型コロナウイルス感染拡大防止と指導員の安全確保のために、今年度の放課後子ども教室を中止したが、市内の文京学院大学と連携し、大学生が作成した動画と地域ボランティアの指導員が作成動画をYouTubeに投稿し、市内全小学生に配信した。なお、動画の配信に係る費用については、県の補助を受けるための申請をした。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.06	1.05	1.35
		人件費	8,541	8,346	10,730
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.89	0.89	0.89
	人件費	2,150	1,881	2,315	
人件費計		10,691	10,227	13,045	
事業費	報酬※	1,543	1,572	1,770	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	322	1,180	966	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	0	61	123	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	897	1,397	14,605		
支出合計		11,302	12,556	28,194	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	1,179	8,480
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	1,176
一般財源		11,302	11,377	18,538	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		99	99	159	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員(産休代替等除く)の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	参加率		
	説明	登録児童の教室参加率 新型コロナウイルス感染拡大防止と指導員の安全確保のために、令和3年度事業を中止したため、実績値を0%とした。		
活動	単位	%		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	100.00	100.00	100.00
	実績値	0.00	0.00	
指標 2	指標名	登録人数		
	説明	参加登録人数の把握 令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から各教室の定員を1/2としたため、目標値も定員にあわせて見直した。また、新型コロナウイルス感染拡大防止と指導員の安全確保のために、令和3年度事業を中止したため、実績値を0人とした。		
活動	単位	人		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	650	259	259
	実績値	0	0	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>放課後子ども教室は、厚生労働省・文部科学省合同の「新・放課後子ども総合プラン」の一環であり、全ての子どもたちの放課後における地域の子どもの安全かつ安心な活動の場（「居場所」）を確保し、地域住民の協力と参画を得て、さまざまな体験、交流、学習等の活動の機会を提供することによって、子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進することを目的としている。</p> <p>これを踏まえて本市では、平成21年度より小学校区の全児童（1～6年生）を対象に、放課後子ども教室を実施している。</p> <p>この事業は、放課後の子どもたちの安全・安心な居場所づくり確保するとともに、学校、地域、家庭が連携した取組としても必要性が高いものと評価されている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止と指導員の安全確保のために、令和3年度は、教室を中止した。</p> <p>その他の実施内容 市内の文京学院大学と連携し、大学生が作成した動画と、地域ボランティアの指導員が作成した動画をYouTubeに投稿し、市内全小学校の児童へ配信を行った。動画の内容は、家で保護者と行える工作や料理、歴史や文化を紹介するものである。再生回数はすべての動画を合わせ2,000回を超え、好評である。</p>
------------------	--

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	<p>全ての就学児童が放課後等をより安全・安心に過ごしながら多様な体験・活動を行うこと、並びに放課後子ども教室と放課後児童クラブを一体的に実施することを達成するため、より円滑で継続的な教室の運営に向けた取組を進めていく。</p> <p>また、平成30年9月14日文科生第396号通知「新・放課後子ども総合プラン」により、令和元年度から向こう5年間を対象とする新たなプランが策定された。これに伴い、教育委員会と福祉部局の更なる連携体制の確立並びに特別な配慮を必要とする児童への対応に関する方策や、安全・安心な教室運営の視点から運営方法の最適化も視野に入れ、一層の拡充を図っていく。</p>
中長期的方向性	<p>令和4年度から地域学校協働活動を実施していくため、この活動に包含される放課後子ども教室を含めた地域学校協働活動推進事業として事業を行う。</p>
継続	

令和3年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		成人式事業	前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト				
施策体系	分野	09 教育 ～地域の絆で育む学びのまち～		
	施策	38 社会教育 一温もりある人と地域を育む学びを推進しますー		
予算費目		一般会計 10教育費 04社会教育費 01社会教育総務費		
所管部課		教育部 社会教育課	評価責任者	永倉秀雄
事務事業期間		平成17年度～	評価日	令和4年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等				
事務事業の内容	事務事業の目的	成人式は、成人となった青年の新しい門出を祝福して、成人としての自覚を促すとともに、家族や友人達との絆を再認識し、また将来に向けて大きく成長してほしいことを願う大切な行事である。		
	事務事業の経緯	昭和23年に国民の祝日に関する法律が施行され、第2条で「成人の日」として大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ますことが定められた。全国的に成人に達した人を祝う式典として開催されている。		
	事務事業の概要	成人に達した青年男女の新しい門出を大きな単位で喜びを分かち合い、祝福し祈念する厳粛であたたかさのある成人式典を実施する。また、中学校時代の恩師を来賓に招くことで、成人としての意識を深める。		
	令和3年度の主な取組	参加者見込人数が、会場の定員の半数となるよう3部制にて実施した。 令和4年ふじみ野市成人式 令和4年1月10日（月） 成人の日 実施 【当日プログラム】 ふじみ野市長のメッセージ、ふじみ野市議会議長のメッセージ、二十歳のメッセージ（3部、各1名）、祝電披露 【参加者数】 第1部（福岡中学校区・花の木中学校区：285人）、第2部（葦原中学校区・大井中学校区：269人）、第3部（大井西中学校区・大井東中学校区：283人）、総合計 837人		

2. 事務事業費・人件費

（単位：千円）

【支出】		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.40	0.79	0.94
		人件費	3,223	6,279	7,472
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		3,223	6,279	7,472	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	280	116	122	
	委託料	3,402	1,079	1,514	
	使用料及び賃借料	0	275	275	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	1,124	105	126		
支出合計		8,029	7,854	9,509	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	944	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		7,085	7,854	9,509	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		62	69	82	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員（産休代替等除く）の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	式典出席者数		
	説明	成人式への参加しての満足度としたいが、把握困難であるため出席者数とした。		
活動	単位	人		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	1,310	1,352	1,352
	実績値	771	837	
指標 2	指標名	式典出席率		
	説明	成人式への参加しての満足度としたいが、把握困難であるため参加率とした。実情に合わせ、目標値を見直したため、令和2年度と比較し、令和3年度の目標値が減少となった。		
活動	単位	%		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	100.00	60.00	65.00
	実績値	56.40	64.09	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>成人に達した青年の門出を市民全体で祝い励ますとともに、新成人に対して主体的に行動するふじみ野市民としての自覚と今後の積極的な社会参加を促し、夢と希望と活力あふれる未来のふじみ野を創造するため、成人式を実施する。</p> <p>成人式は中学校時代の同級生が同じ場所に集うということで、疎遠になってしまった旧友と再会する機会を提供し、同時に成人となった青年の新しい門出を祝福すること、また、家族や友人達との絆を再認識し、将来に向けて大きく成長してほしいとすることを願う大切な式典である。</p> <p>本市では、成人の代表者に「二十歳のメッセージ」をととして、これまで育てていただいた方々への感謝の気持ちや成人としての自覚や決意を披露していただき、多くの仲間と共感する場を提供している。</p> <p>令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため、例年の2部制から3部制に変更するとともに、式典の短縮化を図った上で実施した。</p>
	<p>内容【プログラム】</p> <p>司会：市職員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・BGM：小・中学校校歌 ・式辞（ふじみ野市長） ・祝辞（ふじみ野市議会議長） ・二十歳のメッセージ（3部とも各1名） ・祝電（埼玉県知事他） <p>招待状発送者数 1,306通</p>

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	令和4年4月1日から成年年齢が18歳に引き下げられるが、成人式の対象者は引き続き20歳として開催する。これにより、従来からの「成人式」の名称を変更し、「二十歳の集い」とするとともに、事務事業も「二十歳の集い事業」とする。
中長期的方向性	今後も事業の効率化を図るとともに、20歳という節目に達した方々の新しい門出を祝福し、喜び分かち合えるイベントとなるよう進め方の調査、研究を行っていく。
継続	

令和3年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		社会教育関係団体育成事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	09 教育 ～地域の絆で育む学びのまち～			
	施策	38 社会教育 一温もりある人と地域を育む学びを推進しますー			
予算費目		一般会計 10教育費 04社会教育費 01社会教育総務費			
所管部課		教育部 社会教育課		評価責任者	永倉秀雄
事務事業期間		平成17年～		評価日	令和4年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		ふじみ野市社会教育関係団体補助金交付要綱、社会教育法第10条			
事務事業の内容	事務事業の目的	社会教育法第10条に規定する社会教育関係団体の健全な育成及び社会教育の振興による市民文化の醸成を図る。			
	事務事業の経緯	合併前の上福岡市教育委員会では、平成15年度に「上福岡市社会教育関係団体補助金交付要綱」と「上福岡市教育委員会の後援等の承認に関する要綱」を定め、事業を推進してきた。合併後は「ふじみ野市社会教育関係団体補助金交付要綱」に基づき事業を推進している。平成27年度からPTA連合会補助金は学校教育課へ移管となった。			
	事務事業の概要	市内社会教育関係団体を統括する文化団体連合会に対し、補助金を交付し、取組を奨励している。			
	令和3年度の主な取組	補助金の申請については、本市の社会教育委員会議にて審議を受けた上で交付を行っている。令和3年度に文化団体連合会より解散する旨の申し出があり、補助金の交付は行わなかった。			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.40	0.17	0.11
		人件費	3,223	1,352	875
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		3,223	1,352	875	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	0	0	0	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	338	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	0	0	1		
支出合計		3,223	1,352	1,214	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		3,223	1,352	1,214	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		28	12	10	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員(産休代替等除く)の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	文化団体連合会主催事業参加者数		
	説明	文化フォーラム事業の市民参加者。なお、実績値については、令和元年度文化フォーラムが、新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、中止としたことによるものである。令和2年度においても、緊急事態宣言が発令されたことにより活動を自粛し、文化フォーラム等を実施しなかったことによる。		
活動	単位	人		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	550	550	550
	実績値	0	0	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	市の社会教育の振興に大きく貢献している社会教育関係団体の組織及び事業の充実、発展を図るうえで、今後も当該団体の自主的活動を支援することで、より社会教育を充実させたまちづくりの推進を図る。
--------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	社会教育関係団体の健全な育成及び社会教育の振興による市民文化の醸成を図るため、その「統括団体」に対し、補助金を交付している。しかし、統括団体の高齢化、活動の固定化や会員減少などの課題がある中で、どのように支援をしていくかが大きな課題となっている。
中長期的方向性	また、社会教育の役割として地域課題の解決に資する学びや団体の育成が課題になっていることから、補助制度の在り方についても検討していく必要がある。
継続	

令和3年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名	大井中央公民館管理運営事業		前年度の方向性 拡充
重点プロジェクト			
施策体系	分野	09 教育 ～地域の絆で育む学びのまち～	
	施策	38 社会教育 一温もりある人と地域を育む学びを推進しますー	
予算費目	一般会計 10教育費 04社会教育費 03公民館費		
所管部課	教育部 大井中央公民館	評価責任者	内田徳子
事務事業期間	平成17年度～	評価日	令和4年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等	社会教育法、ふじみ野市立公民館条例、ふじみ野市立公民館条例施行規則、ふじみ野市教育振興基本計画アクションプラン、ふじみ野市文化・スポーツ振興条例		
事務事業の内容	事務事業の目的	地域の拠点施設として広く開放し、社会教育の発展と推進を図るとともに安全な施設提供を目的とする。	
	事務事業の経緯	社会教育法に基づき教育活動を実施する上で、安心して学習できる施設の提供を行うため管理運営に努める。	
	事務事業の概要	社会教育法第20条及び第21条第1項の規定に基づき公民館を運営すると共に、地域の拠点とし活用するため、施設の維持管理と運営を行う。	
	令和3年度の主な取組	【公民館運営審議会の開催】 社会教育法第29条及びふじみ野市公民館条例第12条の規定に基づき、ふじみ野市公民館運営審議会を設置し、館長の諮問に応じ、公民館運営及び各種事業の企画実施に係る審議を行っている。 令和3年度は4回開催（令和3年6月25日、10月29日、令和4年2月18日、3月29日）	

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.00	0.40	0.40
		人件費	8,057	3,180	3,180
	再任用職員	従事人数(人)	0.50	0.50	0.50
		人件費	2,651	2,530	2,530
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	2.72	1.02	1.02
		人件費	4,150	2,206	2,131
人件費計		14,858	7,916	7,841	
事業費	報酬※	3,790	3,266	4,044	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	10,144	368	943	
	委託料	23,454	0	776	
	使用料及び賃借料	389	339	318	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	65	65	63	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	1,711	1,004	1,714		
支出合計		50,261	10,750	13,568	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	1,179	14	15
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	451	462	481
一般財源		48,631	10,274	13,072	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		425	90	112	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員（産休代替等除く）の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	公民館利用者延べ人数		
	説明	公民館を利用した延人数。公民館活動や事業など公民館が市民の活動の場となっているかの指標。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策により施設の臨時休館、利用制限を行ったことで、大幅な利用者数の減少となった。令和3年度は建て替え工事のため休館。		
活動	単位	人		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	114,800	0	0
	実績値	19,875	0	
指標 2	指標名	公民館施設(研修棟)の利用率		
	説明	施設が有効に利用されているかの指標(利用実区分数÷利用可能区分数×100)。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策により施設の臨時休館、利用制限を行ったことで、大幅な利用率の減少となった。令和3年度は建て替え工事のため休館。		
成果	単位	%		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	43.00	0.00	0.00
	実績値	24.80	0.00	
指標 3	指標名	公民館施設(ホール)の利用率		
	説明	施設が有効に利用されているかの指標(利用実区分数÷利用可能区分数×100)。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策により施設の臨時休館、利用制限を行ったことで、大幅な利用率の減少となった。令和3年度は建て替え工事のため休館。		
成果	単位	%		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	25.00	0.00	0.00
	実績値	3.60	0.00	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	<p>【公民館運営審議会の開催】</p> <p>令和3年度については、ふじみ野市公民館運営審議会を年4回開催した。</p> <p>●各回の開催日と主な議題</p> <p>第1回 令和3年6月25日開催 ・公民館事業進捗状況について／・公民館の現状と課題</p> <p>第2回 令和3年10月29日開催 ・公民館事業進捗状況について</p> <p>第3回 令和4年2月18日開催 ・ふじみ野市立公民館条例の一部改正について</p> <p>第4回 令和4年3月29日開催 ・公民館事業進捗状況と取り組みについて／・公民館事業計画について</p>
--------------	--

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
完了	大井中央公民館建て替えに伴う休館中における、公民館利用者の活動可能施設等について適宜相談に応じる等、公民館利用者の活動が損なわれることのないよう努めた。
中長期的方向性	
完了	

令和3年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		大井中央公民館分館管理事業		前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	09 教育 ～地域の絆で育む学びのまち～			
	施策	38 社会教育 一温もりある人と地域を育む学びを推進しますー			
予算費目		一般会計 10教育費 04社会教育費 03公民館費			
所管部課		教育部 大井中央公民館		評価責任者	内田徳子
事務事業期間		平成17年度～		評価日	令和4年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		社会教育法、ふじみ野市立公民館条例、ふじみ野市立公民館条例施行規則、ふじみ野市教育振興基本計画アクションプラン、ふじみ野市文化・スポーツ振興条例			
事務事業の内容	事務事業の目的	分館の維持管理を行ない、社会教育施設として活動の場を提供することを目的とする。			
	事務事業の経緯	地域に根ざした社会教育活動を実施するため、分館長を中心に施設の管理運営に努める。			
	事務事業の概要	大井中央公民館の分館施設の維持管理運営を行なう。			
	令和3年度の主な取組	【分館長会議】年3回開催 令和3年6月30日開催 分館委託金について／分館利用方法について／分館利用団体について 令和3年12月1日開催 分館委託金の取り扱いについて／消防計画に基づく自衛消防訓練等について 令和4年2月10日開催 分館委託金決算報告書の提出について／自衛消防訓練、自主検査チェック表について			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 当初予算
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.70	0.10
		人件費	5,640	795
	再任用職員	従事人数(人)	0.50	0.50
		人件費	2,651	2,530
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	1.63
	人件費	0	0	
人件費計		8,291	3,325	4,299
事業費	報酬※	0	0	0
	賃金※	0	0	0
	需用費	2,590	2,912	3,657
	委託料	2,950	2,910	3,201
	使用料及び賃借料	1,295	1,311	1,332
	工事請負費	0	0	0
	負担金、補助及び交付金	0	0	0
	扶助費	0	0	0
その他事業費※	772	773	774	
支出合計		15,898	11,231	12,289
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0
		県支出金	0	0
		使用料・手数料	40	55
		分担金・負担金	0	0
		地方債	0	0
		基金	0	0
		その他	0	0
一般財源		15,858	11,176	11,914
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		138	98	102

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員(産休代替等除く)の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	分館利用者数		
	説明	分館を利用した延べ人数。分館が市民の活動の場となっているかの指標。令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策により施設の臨時休館、利用制限を行ったことで、大幅な利用者数の減少となった。令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策により活動自粛の影響がありながらも、大井中央公民館の建て替えによる休館の影響を受け、前年度と比較し利用者数の回復が見られた。		
活動	単位	人		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	78,000	83,000	85,000
	実績値	24,460	40,000	
指標 2	指標名	分館施設利用率		
	説明	地域の公民館分館がどれだけ有効に利用されているかの指標（利用区分数÷利用可能区分数×100）。令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策による施設の臨時休館や利用制限等により大幅な利用率の減少となったが、令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策による活動自粛の影響がありながらも、大井中央公民館休館の影響を受け、前年度と比較し利用率の回復が見られた。		
成果	単位	%		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	40.00	42.00	45.00
	実績値	19.70	0.00	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	地域に根ざした社会教育活動を実施するため、分館長を中心に施設の管理運営につとめ、分館利用者に向けた施設の提供をした。
	<p>■令和3年度分館利用状況（令和4年3月末現在）</p> <p>(1)分館の年間利用件数 合計 1,000件</p> <p>(2)分館の年間利用人数 合計 40,000人</p> <p>（内訳）</p> <p>①旭分館 77件 440人</p> <p>②大井分館 131件 1,672人</p> <p>③苗間分館 144件 1,861人</p> <p>④亀久保分館 211件 1,631人</p> <p>⑤鶴ヶ岡分館 283件 3,514人</p> <p>⑥三角分館 10件 150人</p> <p>⑦亀久保西分館 32件 307人</p> <p>⑧江川分館 310件 3,514人</p> <p>⑨学園分館 99件 994人</p> <p>⑩三保野分館 91件 733人</p> <p>⑪武蔵野分館 55件 722人</p> <p>⑫亀居分館 253件 2,780人</p> <p>⑬原分館 34件 266人</p> <p>⑭緑ヶ丘分館 185件 2,764人</p> <p>⑮八丁分館 11件 85人</p> <p>⑯赤土原分館 141件 1,058人</p> <p>⑰亀久保南分館 48件 387人</p> <p>⑱ふじみ野分館 154件 1,582人</p>

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	社会教育法に基づき公民館を運営し、施設の維持管理に努め、安心して学習できる施設を提供していく。
中長期的方向性	
継続	

令和3年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		市民文化祭事業		前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	09 教育 ～地域の絆で育む学びのまち～			
	施策	38 社会教育 一温もりある人と地域を育む学びを推進しますー			
予算費目		一般会計 10教育費 04社会教育費 03公民館費			
所管部課		教育部 大井中央公民館		評価責任者	内田徳子
事務事業期間		平成17年度～		評価日	令和4年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等					
事務事業の内容	事務事業の目的	一般市民を対象に、地域文化の発展と創造のための文化活動の機会を提供し、団体、サークルや市民個人も含め学習活動の成果発表の場とする。 地域住民のふれあいの場として、参加団体の連帯及び親睦と交流を図るため、地域に開かれ、親しみのもてる公民館を目指す。			
	事務事業の経緯	ふじみ野市民文化祭は、毎年10月から11月にかけて【おおい会場】、【かみふくおか会場】の2つに分かれて行っていたが、令和2年度からふじみ野市民文化祭を1本化し、ふじみ野市全体で行っている事業として市内全域での取り組みを進めている。 西公民館まつりは、西公民館創設以来継続実施してきている。			
	事務事業の概要	文化祭は、例年10月から11月にかけて行われている事業で、9つの部門から役員を選出し、実行委員会を組織して行っている。 西公民館まつりは、近隣町内会、自治会、商店会、子ども会育成会、西公民館利用者懇談会などに参加を呼びかけ、実行委員会方式により実施している。			
	令和3年度の主な取組	第17回市民文化祭では、9部門【作品展示部門、洋舞部門、邦舞部門、カラオケ部門、音楽部門、大会部門、子ども劇場、青年祭、子どもフェスティバル）の実施予定であったが、令和3年度の運営委員会で意見を仰ぎ中止とした。 西公民館まつりは、今年は33回目の開催を計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、やむを得ず開催を中止した。			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.39	1.80	1.70
		人件費	3,143	14,307	13,512
	再任用職員	従事人数(人)	0.20	0.90	0.70
		人件費	1,061	4,554	3,542
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.13	0.13
	人件費	0	247	0	
人件費計		4,204	19,108	17,054	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	0	0	0	
	委託料	0	0	3,537	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	0	0	0		
支出合計		4,204	18,861	20,591	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		4,204	18,861	20,591	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		37	165	177	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員(産休代替等除く)の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	市民文化祭参加団体		
	説明	多くの市民が会場に訪れ多様な文化活動を体験する事により文化交流が図られるため成果指標としたが、令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のためため止むを得ず開催を中止したため、実績値は0となる。		
成果	単位	団体		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	120	240	240
	実績値	0	0	
指標 2	指標名	市民文化祭入場者数		
	説明	多くの市民が会場に訪れ多様な文化活動を体験する事により文化交流が図られるため成果指標としたが、令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のためため止むを得ず開催を中止したため、実績値は0となる。		
成果	単位	人		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	8,000	14,000	14,000
	実績値	0	0	
指標 3	指標名	西公民館まつりの参加者人数		
	説明	多くの市民が会場に訪れ多様な文化活動を体験する事により文化交流が図られるため成果指標としたが、令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のためため止むを得ず開催を中止したため、実績値は0となる。		
成果	単位	人		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	0	1,200	1,200
	実績値	0	0	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>令和元年度まで【おおい会場】【かみふくおか会場】の各実行委員会が行っていた方式を、一つの実行委員会として行う市民文化祭とした。しかし、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、開催の可否について判断する必要性が生じ、令和3年度の運営委員会で議論をした結果、不特定多数の人が来場されることによる感染拡大防止策が懸念されることから、中止とした。</p> <p>令和3年7月14日 第1回運営委員会開催 7月21日 第2回運営委員会開催 7月30日 第3回運営委員会開催</p>
------------------	--

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	一般市民及び公民館活動サークルが普段の活動の発表の場として、文化祭への参加をすることを目標に活動するとともに、見に来た人たちが興味を持ち、サークルに入り活動をするなどして文化の発展に寄与することができることから今後も継続して実施することが必要である。
中長期的方向性	令和3年度から大井中央公民館建て替え工事、またステラ・イーストホール棟についても令和5年度には建て替え工事が始まることから、一つの実行委員会として行う市民文化祭として統合した運営が求められる。
継続	

令和3年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		地域文化振興事業		前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	09 教育 ～地域の絆で育む学びのまち～			
	施策	38 社会教育 一温もりある人と地域を育む学びを推進しますー			
予算費目		一般会計 10教育費 04社会教育費 03公民館費			
所管部課		教育部 大井中央公民館		評価責任者	内田徳子
事務事業期間		平成17年度～		評価日	令和4年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		社会教育法、ふじみ野市教育振興基本計画アクションプラン、ふじみ野市文化・スポーツ振興条例			
事務事業の内容	事務事業の目的	地域文化の発展と創造のための文化活動の機会提供、魅力のある生の芸術等の鑑賞機会提供による地域文化に寄与する。また、地域住民の實際生活に即した教育、学術及び文化に関する事業を行い、より地域社会に密着した文化を築き上げていく。			
	事務事業の経緯	昭和55年の大井中央公民館新築により大ホールが設置された当時から「舞台芸術鑑賞会」としてホールを利用した事業を開催している。また、6月から1月の毎月第3金曜日に「公民館サロン」として「大井寄席」を開催している他、平成28年度より市出身の落語家による「地元落語家応援寄席」も実施している。囲碁将棋大会は昭和47年から開催している。			
	事務事業の概要	より多くの市民に公民館を知ってもらうために、ホールを活用した舞台芸術鑑賞事業（演劇・音楽）、公民館サロンを実施している。日頃のサークル活動の実践の場、交流する場を提供することを目的に囲碁将棋オセロ大会を実施している。			
	令和3年度の主な取組	①舞台芸術鑑賞会：実行委員会方式による企画・運営で、親子を対象とした演劇を1回行った。 ②公民館サロン：舞台芸術を少人数で気軽に味わってもらう催しとして、「大井寄席」を7回行った。 ③新春落語会：日本の伝統文化に触れてもらうため、1月に落語会を開催した。 ④囲碁将棋オセロ大会：新型コロナウイルス感染防止対策のため、中止した。			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.50	0.55	0.55
		人件費	4,029	4,372	4,372
	再任用職員	従事人数(人)	0.20	0.30	0.40
		人件費	1,061	1,518	2,024
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.13	0.13
	人件費	0	247	0	
人件費計		5,090	6,137	6,396	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	37	37	43	
	委託料	152	966	1,020	
	使用料及び賃借料	0	27	35	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	247	289	388		
支出合計		5,525	7,209	7,882	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	315
一般財源		5,525	7,209	7,567	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		48	63	65	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員（産休代替等除く）の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	舞台芸術鑑賞会入場者数		
	説明	舞台芸術鑑賞会の入場者数（年1回実施） 令和3年度については、新型コロナウイルス感染防止対策の観点から、入場制限を行い実施した。		
成果	単位	人		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	0	300	300
	実績値	0	135	
指標 2	指標名	公民館サロン入場者数		
	説明	公民館サロンとして実施している「大井寄席」の入場者数（年7回実施） 令和3年度については、新型コロナウイルス感染防止対策の観点から、入場制限を行い実施したが、感染の危険を考慮し、来場を控える人が多くいたことが原因と考える。		
成果	単位	人		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	585	450	450
	実績値	0	80	
指標 3	指標名	応募者数（囲碁将棋・オセロ大会）		
	説明	多くの市民のニーズに合致した魅力的な内容であれば応募者も多くなり満足度につながるため成果指標としたが、令和3年度は新型コロナウイルス感染防止対策により止むを得ず開催を中止したため、実績値は0となる。		
成果	単位	回		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	0	130	130
	実績値	0	0	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	【令和3年度地域文化振興事業について】 地域文化の発展と創造のための事業。魅力ある生の芸術を身近な場所、安い料金で気軽に鑑賞する機会となっている。併せて、芸術や文化を身近に感じて関心を持つきっかけづくりを図る。 (1) 舞台芸術鑑賞会 舞台芸術をより身近な場所で鑑賞する機会を設けるための事業。公募した委員による舞台芸術鑑賞会実行委員に事業実施を委託して企画・運営を行った。実行委員会方式での運営は、市民による事業実施能力を高めることにより市民自身の教育力を高める効果がある一方、公募実行委員が集まらない課題がある。 令和4年3月19日（土）午後2時開演 「オズの魔法使い」 入場者数135人 出演：劇団ポプラ
	(2) 公民館サロン 舞台芸術を少人数のサロンの雰囲気味わってもらおう事業を実施。定期的に古典芸能に触れる機会を提供することにより、市民の文化的な知識・経験の向上を図っている。 ①大井寄席 二つ目の落語家による「大井寄席」を6月～翌年3月（12月・1月を除く）の毎月第3金曜日の午後2時30分～4時に開催。 令和3年6月柳柳家小んぶ 11人 7月柳家緑太 14人 8月春風亭一花※新型コロナウイルス感染防止対策により中止 9月柳家あお馬 3人 10月三遊亭天歌 4人 11月金原亭馬久 16人 2月春風亭一蔵 14人 3月古今亭始 18人 (3) 新春落語会 上福岡地区においては、落語を楽しんでもらう機会が少ないため、実施回数を増やすことを考えていく必要がある。令和4年1月20日（木） 入場者数 60人

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	実行委員会方式の「舞台芸術鑑賞会」、開催が定着している「公民館サロン」ともに、公民館利用者に芸術を身近に感じて関心を高めてもらう格好の事業となっている。また、「公民館サロン」の「大井寄席」については、出演者自身の横のつながりを核とした継続的な実施が確保できることで、出演者間での「大井寄席」の評判や、高座の質の向上を維持する等、多方面に継続実施の効果が反映されている。今後も市民ニーズに合致した、質の高い芸術を鑑賞できる機会を提供できるよう事業に取り組んでいく。 また、上福岡西公民館が担当している「新春落語会」及び「囲碁将棋オセロ大会」については、地域コミュニティの形成や地域課題に対応した学習を展開できることから、今後も事業の継続は必要である。
中長期的方向性	
継続	

令和3年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		高齢者教育事業	前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト				
施策体系	分野	09 教育 ～地域の絆で育む学びのまち～		
	施策	38 社会教育 一温もりある人と地域を育む学びを推進しますー		
予算費目		一般会計 10教育費 04社会教育費 03公民館費		
所管部課		教育部 大井中央公民館	評価責任者	内田徳子
事務事業期間		平成17年度～	評価日	令和4年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等				
事務事業の内容	事務事業の目的	高齢者に公民館事業を通じて、学習の機会を提供し、生涯学習を支援する。		
	事務事業の経緯	大井中央公民館と上福岡公民館で「もくせい大学」・「ことぶき大学」をそれぞれ実施していたが、平成30年度に3館合同で準備委員会を設立し、事業を一本化し、内容を見直したうえで、令和元年度から3館合同の高齢者大学「昭和100年大学」を開講することとなった。		
	事務事業の概要	高齢者がいつまでも元気に社会参加し、豊かな人生を送ることができるよう幅広い学習の場を提供するとともに、その学習の成果を社会や地域に活かす事ができるように公民館が一本化して支援していく。 大井中央公民館がくらしの生活学部（くらし学科・生活の知識学科） 上福岡西公民館が元気健康学部（健康のための教養学科・健康のための体育学科・健康のための声楽学科）、くらしの中の芸術学部（陶芸学科・美術学科）をそれぞれ年間を通して開講している。また、各学部年1、2回「昭和100年大学」の受講生並びに市内在住在勤者を対象に合同公開講座を開講している。		
	令和3年度の主な取組	①くらしの生活学部・元気健康学部・くらしの中の芸術学部 くらし学科・生活の知識学科毎月1回（8月、1月を除く）開設し、12回の事業を実施した。 教養学科・体育学科・声楽学科毎月1回（8月、1月を除く）開設し、21回の事業を実施した。 陶芸学科・美術学科毎月1、2回（8月を除く）開設し、18回の事業を実施した。 ②合同講座を7月、2月に開設し、4回の事業を実施した。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.50	1.30	1.25
		人件費	4,029	10,333	9,935
	再任用職員	従事人数(人)	0.20	0.70	0.50
		人件費	1,061	3,542	2,530
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.13	0.53
	人件費	0	247	0	
人件費計		5,090	14,122	12,465	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	37	61	119	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	0	8	70	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	209	869	1,169		
支出合計		5,336	14,813	13,823	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		5,336	14,813	13,823	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		47	130	119	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員（産休代替等除く）の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	講座実施回数		
	説明	昭和100年大学で実施する講座の回数。		
成果	単位	回		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	13	58	58
	実績値	6	55	
指標 2	指標名	応募率		
	説明	受講者のニーズに合致した魅力的な内容であれば、応募率も高くなり受講者の満足度にもつながるため、成果指標とした。		
成果	単位	%		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	100	100	100
	実績値	34	198	
指標 3	指標名	出席率		
	説明	受講者のニーズに合致した魅力的な内容であれば、出席率も高くなる。受講者の満足度にもつながるため、成果指標とした。新型コロナウイルスの感染リスクを踏まえ、講座への参加を控える受講生が多く見受けられたと考えられる。		
成果	単位	%		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	80	80	80
	実績値	64	51	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>【令和3年度高齢者教育事業について】</p> <p>高齢者一人ひとりが生涯にわたって学ぶことにより、豊かな人生を送ることができるよう幅広い学習の場を提供するとともに、その学習の成果を地域づくりに活かすことができるよう支援する。</p> <p>新型コロナウイルス感染防止対策により、縮小して実施。</p> <p>(1) 昭和100年大学くらしの生活学部くらし学科 月1回第2火曜日 10時～正午 定員20人(応募者51人) 全6回 年間延べ人数 83人</p> <p>(2) 昭和100年大学くらしの生活学部生活の知識学科 月1回第4木曜日 10時～正午 定員20人(応募者38人) 全6回 年間延べ人数 53人</p> <p>(3) 昭和100年大学元気健康学部健康のための教養学科 月1回第2火曜日 14時～16時 定員40人(応募者57人) 全7回 年間延べ人数 172人</p> <p>(4) 昭和100年大学元気健康学部健康のための体育学科 月1回第2木曜日 14時～16時 定員40人(応募者89人) 全7回 年間延べ人数 158人</p> <p>(5) 昭和100年大学元気健康学部健康のための声楽学科 月1回第3火曜日 14時～16時 定員40人(応募者91人) 全7回 年間延べ人数 227人</p> <p>(6) 昭和100年大学くらしの中の芸術学部陶芸学科 水曜日 10時～正午 定員16人(応募者33人) 全10回 年間延べ人数 161人</p> <p>(7) 昭和100年大学くらしの中の芸術学部美術学科 水曜日 10時～正午 定員16人(応募者23人) 全9回 年間延べ人数 121人</p> <p>昭和100年大学全学部学科の受講生並びに受講生以外の市内在住在勤の一般市民を対象として講座を行う。(令和3年度は、新型コロナウイルス感染防止対策により受講生のみ)</p> <p>(3) 昭和100年大学 合同講座 年4回 定員172人 年間延べ人数 125人</p>

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	昭和100年大学の対象となる60歳以上の高齢者の市人口に占める割合は30.4%(令和3年10月1日現在)と昨年同時期より0.3ポイント上昇していて、依然として人口の約3割を占めている。超高齢化社会を背景に、高齢者の健康維持や居場所づくり、生きがいがづくり、又地域のコミュニティー育成に貢献する事業であるとともに、高齢者の学習意欲を満ち、心身ともに豊かな生活の実現を目的とする、現代社会に必須の事業であるため、今後も参加対象者のニーズを把握した学習機会の提供に取り組む。
中長期的方向性	
継続	

令和3年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		青少年教育事業	前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト				
施策体系	分野	09 教育 ～地域の絆で育む学びのまち～		
	施策	38 社会教育 一温もりある人と地域を育む学びを推進しますー		
予算費目		一般会計 10教育費 04社会教育費 03公民館費		
所管部課		教育部 大井中央公民館	評価責任者	内田徳子
事務事業期間		平成17年度～	評価日	令和4年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等				
事務事業の内容	事務事業の目的	子どもたちが多様な学びを経験する機会を得ることにより、郷土を愛する手立てとなることを目的とし、豊かな地域社会の創造発展を図るため、青少年を対象とした生涯学習を展開する。		
	事務事業の経緯	学校週5日制対応事業として小・中学生を対象に事業を開設。子どもたちが地域の中で健全かつ心豊かな人間関係を育むための学習機会の提供を目的に、公民館利用団体と連携した各種教室や文京学院大学等と連携した野外活動体験等、各種プログラムを企画実施し、市民より好評を博してきた。平成30年度は6教室を毎月定期的開催、夏休みには親子チャレンジ教室を実施している。		
	事務事業の概要	小学生（1年生～3年生）を対象に、水彩画・折り紙・硬筆と筆ペン・リズム体操教室の4教室を開設している。また、夏休みには親子チャレンジ教室を実施している。 他に上福岡西公民館主催事業として、子どもまつり、ふくっ子クラブ、わんぱく教室、はとぼっぼ教室、小学校3年生公民館体験教室、家庭教育セミナー、子どもひろばを実施している。		
	令和3年度の主な取組	①子どもの城教室：地域や仲間と交流を図りながらさまざまなことを学習できる4教室を開設し、31回事業を行った。 ②夏休み親子チャレンジ教室：キッズラボ「LEDをつかった工作」の事業を1回行った。 ③子どもまつり：新型コロナウイルスの影響により中止 ④ふくっ子クラブ：9回開催 ⑤わんぱく教室：8回開催 ⑥はとぼっぼ教室：春と秋の2期、各6回開催 ⑦小学校3年生公民館体験教室：5月開催を延期し、開催時期を模索したが、中止。 他		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.40	1.30	1.40
		人件費	3,223	10,333	11,128
	再任用職員	従事人数(人)	0.20	0.40	0.60
		人件費	1,061	2,024	3,036
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.94	0.43
	人件費	0	1,641	0	
人件費計		4,284	13,998	14,164	
事業費	報酬※	0	1,394	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	24	63	72	
	委託料	0	0	274	
	使用料及び賃借料	0	69	491	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	12	1,386	1,048		
支出合計		4,320	15,268	16,049	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		4,320	15,268	16,049	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		38	133	138	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員（産休代替等除く）の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	事業実施回数		
	説明	教室や内容等、時代のニーズに合致した事業の展開が把握できるため成果指標とした。		
成果	単位	回		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	93	82	82
	実績値	2	67	
指標 2	指標名	応募率（募集人数／応募者数）		
	説明	受講者のニーズに合致した魅力的な内容であれば、応募率も高くなり受講者の満足度につながるため成果指標とした。		
成果	単位	%		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	100	100	100
	実績値	83	131	
指標 3	指標名	出席率		
	説明	受講者のニーズに合致した魅力的な内容であれば、出席率も高くなり受講者の満足度につながるため成果指標とした。		
成果	単位	%		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	0	100	100
	実績値	0	83	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	【令和3年度青少年教育事業について】 学校週5日制が試行的に実施された平成4年度から、地域における子どもの居場所づくりとして、遊びや学びの機会を提供するとともに、学校や地域と連携して、人との交流やコミュニケーションを経験できる行事やイベントなどを開催し、青少年の自主的な社会参加を促進している。小学生を対象に、子どもたちが地域の中で、健全かつ心豊かな人間関係を育むための学習の機会を提供するため、4教室を毎月定期的に開催している。平成30年度から新たな事業として、小学生の親子を対象とした夏休み親子チャレンジ教室を開催している。
	<p>(1) 子どもの城教室 令和3年度は4教室を開設し、受講者は36人。年間受講者は延べ210人。（開設期間：令和3年6月～令和4年3月 毎月基本第2土曜日午後）2月は新型コロナウイルス感染防止対策として中止</p> <p>①水彩画教室（小学1年生～3年生）12人 講師：富田淑子氏 ②折り紙教室（小学1年生～3年生）9人 講師：青木宝美氏 ③硬筆と筆ペン教室（小学1年生～3年生）10人 講師：四季彩会 ④リズム体操教室（小学1年生～3年生）5人 講師：小澤晴美氏</p> <p>(2) 夏休み親子チャレンジ教室 ①キッズラボ「LEDをつかった工作」 令和3年7月30日（金）午後1時30分～3時30分（小学生親子10組）20人 講師：株式会社専修キッズラボ大宮宮原校 栗原弘尚氏</p> <p>(3) ふくっ子クラブ 年間9回開催 定員24人 延べ187人参加</p> <p>(4) わんぱく教室 年間8回開催 定員24人 延べ157人参加</p>

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	「子どもの城」は、対象となる小学生の学校、年齢を超えた交流をベースに高い学習効果を生み出すとともに、講師をボランティア的に務めている公民館利用者のモチベーションアップにつながるものとして、公民館のみならず市民の教育力の向上につながる重要な価値を持つ事業である。また、事業実施の過程で学習成果の発表の場（市民文化祭など）を設け、受講者の家族等と意思の疎通を図ることができるなど、さまざまな可能性を持つ事業となっている。
中長期的方向性	
継続	

令和3年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		成人教育事業	前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト				
施策体系	分野	09 教育 ～地域の絆で育む学びのまち～		
	施策	38 社会教育 一温もりある人と地域を育む学びを推進しますー		
予算費目		一般会計 10教育費 04社会教育費 03公民館費		
所管部課		教育部 大井中央公民館	評価責任者	内田徳子
事務事業期間		平成17年度～	評価日	令和4年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等				
事務事業の内容	事務事業の目的	地域課題や生活課題の学習とともに、さまざまな体験を重ねることで、心身ともに充足し、住んで良かったといえる地域づくりを目指す。また、豊かな地域社会の創造発展を図るため、成人を対象とした生涯学習を展開する。		
	事務事業の経緯	昭和48年度の「大井町公民館年間計画」ですでに「青少年教育の充実」や「芸術文化活動の高揚」などとともに「成人教育の充実」が掲げられ、「家庭教育学級」や「文化講座」などが実施されている。また、昭和62年社会教育施設として西公民館が開設され、市民の生涯学習を進めるため成人を対象とした各種教室等を開催している。		
	事務事業の概要	地域分館コミュニティ事業、人権講座、子育て講座、日本語教室、趣味講座、成人教育教室（4講座）障がい者青年学級、にほんご教室、日本語ボランティア養成講座、家庭教育セミナー、公民館講座、女性セミナー		
	令和3年度の主な取組	成人教育の充実を目的に、地域分館コミュニティ事業（1回）、人権講座（1回）、子育て講座（2回）、日本語教室（50回）、趣味講座（2回）、成人教育講座（初めてのDIY講座）（1回）、人権・平和講座（3回）、防災講座（4回）、障がい者青年学級（4回）、にほんご教室（12回）、日本語ボランティア養成講座（中止）、家庭教育セミナー（中止）、公民館講座（中止）、女性セミナー（4回）など市民ニーズに合致した魅力ある講座を開催。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.40	0.85	0.90
		人件費	3,223	6,756	7,154
	再任用職員	従事人数(人)	0.20	0.70	0.80
		人件費	1,061	3,542	4,048
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.13	0.43
	人件費	0	247	0	
人件費計		4,284	10,545	11,202	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	22	72	160	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	0	0	258	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	111	444	1,239		
支出合計		4,417	10,814	12,859	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		4,417	10,814	12,859	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		39	95	110	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員（産休代替等除く）の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	講座回数		
	説明	多様な講座が開催されることで、対象者の趣味や生活パターンに応じた受講の機会が増えるので成果指標としたが、新型コロナウイルス感染防止対策の影響により、開催を中止したため実績値は目標値に届かなかった。		
成果	単位	回		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	20	223	223
	実績値	9	84	
指標 2	指標名	応募率（募集人数／応募者数）		
	説明	受講者のニーズに合致し魅力的な講座であれば応募率も高くなり満足度につながるので成果指標とした。（日本語教室は除く）		
成果	単位	%		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	100	100	100
	実績値	60	91	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	<p>【令和3年度成人教育事業について】</p> <p>(1) 地域分館コミュニティ事業 令和3年6月6日日曜日午後2時～3時 参加者数：15人 講師：神木繁行氏</p> <p>(2) 人権講座 令和3年11月17日水曜日午後1時30分～3時 参加者数：11人 講師：木村・東谷法律事務所弁護士木村智博氏</p> <p>(3) 子育て講座 1回目 紙コップでふうりん作り 令和3年8月10日火曜日午前10時30分～正午 参加者数：満3歳～5歳までの親子、4組8人 2回目 はたらくじどうしゃ作り 令和3年8月27日金曜日午前10時30分～正午 参加者数：満3歳～5歳までの親子、2組4人 講師：ふじみ野耳専門サロンPatio主宰内山奈津子氏</p> <p>(4) 日本語教室 令和3年4月から令和4年3月 毎週月・木曜日（全50回）午前10時～11時30分年間利用者数：延べ200人 ※4月～6月、8月、9月は新型コロナウイルス感染防止対策のため中止</p> <p>(5) 趣味講座 1回目 親子でローズウィンドウづくり 令和3年11月27日土曜日午後1時30分～3時30分 参加者数：小学1年～3年生までの親子、5組10人 講師：スタジオまるり 伊藤万里子氏 2回目 ZUMBA（ズンバ）を体験してみよう 令和4年3月26日土曜日午後1時30分～3時10分 参加者数：小学生とその保護者、5組10人 講師：JWI所属 ズンバプロスキル インストラクター 西園宏明氏</p>
--------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	学習や交流の機会を求めている市民に、その機会を提供することは公民館の大きな役割である。市民ニーズは多様であり、それらを的確に捉え学習機会を提供することにより市民全体の教育力向上につながるものとして、今後も継続して実施していく。
中長期的方向性	
継続	

令和3年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		市民文化祭事業（かみふくおか会場）		前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	09 教育 ～地域の絆で育む学びのまち～			
	施策	38 社会教育 一温もりある人と地域を育む学びを推進しますー			
予算費目					
所管部課		教育部 上福岡公民館		評価責任者	内田 徳子
事務事業期間		平成17年度～		評価日	令和4年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等					
事務事業の内容	事務事業の目的	団体、サークルや市民個人をも含め学習活動の成果発表の場として、また、市民の手作りによる優れた作品や芸術の鑑賞の場として、文化活動の中心となるものである。			
	事務事業の経緯	昭和37年から続けられてきた市民文化祭は実行委員会を組織し実施されており、合併時の平成17年は第1回ふじみ野市文化祭として行われたが、平成18年からは「おい会場」、[かみふくおか会場]として実施されてきた。令和2年度から上福岡公民館が、令和3年度から大井中央公民館が工事のため使用できなくなるため、実行委員会を統合する検討委員会を立ち上げ、準備を開始した。			
	事務事業の概要	公民館等の全施設を活用し、作品展示・芸能発表・音楽祭・講演などの発表を実施。			
	令和3年度の主な取組	第16回市民文化祭おい会場では、9部門【子どもフェスティバル、作品展示部門、芸能祭部門（邦舞・洋舞・カラオケ）、音楽祭部門、大会部門、子ども劇場、青年祭）の実施予定であったが、令和元年度参加団体に電話や面談によるアンケートを実施し、そのアンケート結果を検討委員会、公民館運営審議会で見解を仰ぎ中止とした。			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 当初予算
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.30	0.00
		人件費	2,418	0
	再任用職員	従事人数(人)	0.30	0.00
		人件費	1,591	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00
	人件費	0	0	
人件費計		4,009	0	0
事業費	報酬※	0	0	0
	賃金※	0	0	0
	需用費	0	0	0
	委託料	0	0	0
	使用料及び賃借料	0	0	0
	工事請負費	0	0	0
	負担金、補助及び交付金	0	0	0
	扶助費	0	0	0
その他事業費※	0	0	0	
支出合計		4,009	0	0
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0
		県支出金	0	0
		使用料・手数料	0	0
		分担金・負担金	0	0
		地方債	0	0
		基金	0	0
		その他	0	0
一般財源	4,009	0	0	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		35	0	0

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員（産休代替等除く）の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	市民文化祭参加団体数		
	説明	文化祭に参加した団体数。 令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止の点から、①不特定多数の人が来場されること ②新型コロナウイルスの影響による参加団体の準備が間に合わないなどを踏まえ、中止とした。		
活動	単位	団体		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	120	120	0
	実績値	0	0	
指標 2	指標名	市民文化祭入場者数		
	説明	文化祭開催期間に来場した人数。 令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止の点から、①不特定多数の人が来場されること ②新型コロナウイルスの影響による参加団体の準備が間に合わないなどを踏まえ、中止とした。		
成果	単位	人		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	6,000	6,000	0
	実績値	0	0	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>令和元年度まで【おおい会場】【かみふくおか会場】の各実行委員会が行っていた方式を、1つの実行委員会として行う市民文化祭とした。しかし、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、開催の可否について判断する必要性が生じ、昨年参加した団体や役員などにアンケートを行い、それを基に議論を行った。その結果、①不特定多数の人が来場されることによる感染拡大防止策が懸念されること②参加予定団体の準備が不確実なことなどから、中止とした。</p> <p>令和3年5月22日～6月10日 電話・面談アンケート実施 7月10日 検討委員会開催 7月14日 公民館運営審議会にて意見徴集</p>

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	<p>一般市民及び公民館活動サークルが普段の活動の発表の場として、文化祭への参加をすることを目標に活動するとともに、見に来た人たちが興味を持ち、サークルに入り活動をするなどして文化の発展に寄与することができることから今後も継続して実施をすることが必要である。</p> <p>令和3年度から大井中央公民館建て替え工事、またステラ・イーストホール棟についても令和5年度には建替え工事が始まることから、一つの実行委員会として行う市民文化祭として統合した運営が求められる。</p>
中長期的方向性	
継続	

令和3年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		上福岡西公民館管理運営事業		前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	09 教育 ～地域の絆で育む学びのまち～			
	施策	38 社会教育 一温もりある人と地域を育む学びを推進しますー			
予算費目		一般会計 10教育費 04社会教育費 03公民館費			
所管部課		教育部 上福岡西公民館		評価責任者	内田徳子
事務事業期間		平成17年度～		評価日	令和4年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		社会教育法、ふじみ野市立公民館条例、ふじみ野市立公民館条例施行規則、ふじみ野市教育振興基本計画アクションプラン、ふじみ野市文化・スポーツ振興条例			
事務事業の内容	事務事業の目的	市民が充実した環境で安心して学習できる場所を提供するため、施設・設備の安全管理を行う。			
	事務事業の経緯	市民の教養の向上、健康の増進、学術及び文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的として各種の事業を行う上で、安全で安心して学習できる施設の維持管理・提供に努める。			
	事務事業の概要	生涯学習の場の提供及び施設の維持管理・運営を行う。			
	令和3年度の主な取組	上福岡西公民館は、昭和62年9月に開設され、今年で開館33年を迎える。公民館は、地域住民の交流の場、学習の場として利用できる教育施設である。また、豊かな生活に資するため、様々な講座や催しを開催している。 上福岡西公民館維持管理運営事業では、公民館を市民が充実した環境で安心して学習できる場を提供するため、施設・設備の安全管理を行っている。 令和3年度に実施した施設修繕は下記のとおりである。 * 汚水ポンプ用制御盤修繕、美術工芸室冷暖房空調機修繕、蛍光灯照明器具修繕等			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.50	1.50	
		人件費	12,086	11,922	
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	
		人件費	0	0	
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	1.04	0.96	
	人件費	1,663	1,710		
人件費計		13,749	13,632	16,023	
事業費	報酬※	1,641	1,689	3,443	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	7,455	8,513	11,866	
	委託料	19,371	19,821	20,702	
	使用料及び賃借料	152	206	203	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	366	1,121	1,011		
支出合計		41,071	43,272	49,147	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	549	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	1,539	0	1,839
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	28	0	50
一般財源		39,504	42,723	47,258	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		345	374	405	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員(産休代替等除く)の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	公民館利用者延べ人数		
	説明	公民館を利用した延べ人数。公民館活動や事業など公民館が市民の活動の場となっているかの指標。		
活動	単位	人		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	70,000	70,000	70,000
	実績値	21,487	0	
指標 2	指標名	公民館の利用率		
	説明	施設が有効に利用されているかの指標。 ((利用区分数) ÷ (利用可能区分数)) × 100		
成果	単位	%		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	55.00	55.00	55.00
	実績値	30.30	0.00	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	令和3年度に実施した施設修繕
	<p>* 修繕一覧</p> <p>1階事務室蛍光灯安定器他修繕、2階多目的トイレフラッシュバルブ部漏水修繕、館内・ホール他水銀灯照明器具修繕、1F受付蛍光灯照明器具修繕、美術工芸室冷暖房空調機修繕、電灯・動力電流計切替スイッチ交換修繕、2階集会室ベランダ手摺り支持部修繕</p> <p>事務用椅子修繕</p>

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	開館33年が経過していることから施設の老朽化が進んでいる中、大規模改修も視野に入れながら、施設の維持管理に努め、利用者が安全で安心して活動、学習できる施設を提供する。
中長期的方向性	
継続	

令和3年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		上福岡西公民館分室管理事業		前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	09 教育 ～地域の絆で育む学びのまち～			
	施策	38 社会教育 一温もりある人と地域を育む学びを推進しますー			
予算費目		一般会計 10教育費 04社会教育費 03公民館費			
所管部課		教育部 上福岡西公民館		評価責任者	内田徳子
事務事業期間		平成17年度～		評価日	令和4年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		社会教育法、ふじみ野市立公民館条例、ふじみ野市立公民館条例施行規則、ふじみ野市教育振興基本計画アクションプラン、ふじみ野市文化・スポーツ振興条例			
事務事業の内容	事務事業の目的	市民が充実した環境で安心して学習できる場を提供するために施設・設備の安全管理を行う。			
	事務事業の経緯	上福岡西公民館分室は昭和59年に、市内市民のために、教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的として開館し、現在に至っている。			
	事務事業の概要	生涯学習の場の提供及び施設の維持管理・運営を行う。			
	令和3年度の主な取組	上福岡西公民館分室維持管理事業では、分室を市民が充実した環境で安心して学習できる場を提供するために施設・設備の安全管理を行っている。 令和3年度に実施した修繕は次のとおりである。 * 修繕一覧 1階事務室ドア修繕、ガスコンロ修繕			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.20	0.20	0.20
		人件費	1,612	1,590	1,590
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		1,612	1,590	1,590	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	539	441	514	
	委託料	338	338	403	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	0	0	1		
支出合計		2,489	2,369	2,508	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	19	0	23
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		2,470	2,369	2,485	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		22	21	21	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員(産休代替等除く)の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	公民館分室利用者延べ人数		
	説明	分室を利用した延べ人数。分室が市民の活動の場となっているかの指標。 延べ利用者数		
活動	単位	人		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	2,700	2,700	2,700
	実績値	503	0	
指標 2	指標名	分室利用率		
	説明	地域の公民館分室がどれだけ有効に利用されているの指標。 ((利用区分数) ÷ (利用可能区分数)) × 100		
成果	単位	%		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	20.00	20.00	20.00
	実績値	6.80	0.00	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	令和3年度に実施した修繕
	<ul style="list-style-type: none"> * 修繕一覧 修繕 1階修繕 2階修繕

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	施設の維持管理に努め、利用者が安全で安心して活動、学習できる施設を提供する。
中長期的方向性	
継続	

令和3年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		図書館管理運営事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	09 教育 ～地域の絆で育む学びのまち～			
	施策	38 社会教育 一温もりある人と地域を育む学びを推進しますー			
予算費目		一般会計 10教育費 04社会教育費 04図書館費			
所管部課		教育部 社会教育課		評価責任者	永倉秀雄
事務事業期間		平成27年度～		評価日	令和4年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等					
事務事業の内容	事務事業の目的	上福岡図書館及び大井図書館の運営を支えるため施設管理及びモニタリング、指導を行う。			
	事務事業の経緯	昭和53年に上福岡市立図書館設置条例制定。その後市民の図書館建設運動を経て平成6年現在地に市民要望と意見を取り入れて建設され、平成27年10月から指定管理者制度を導入して運営を行う。大井図書館は、昭和63年7月に町民要望により開館した。令和2年度から指定管理制度を導入した。令和3年度から上福岡図書館・大井図書館を統合して「図書館管理運営事業」とした。			
	事務事業の概要	上福岡図書館は平成27年度から、大井図書館は令和2年度から続けている指定管理者による管理運営を継続する。 上福岡図書館は、平成5年度竣工、平成6年度開館の施設のため、空調機を中心に施設各所に老朽化等による劣化・不具合が生じているため、施設修繕を進める。 大井図書館は、建築後30年以上が経過し、施設が老朽化しているため計画的な修繕等を行う。			
	令和3年度の主な取組	令和2年度から上福岡図書館及び大井図書館を一括した指定管理実施とモニタリングを実施した。 上福岡図書館1階天井に埋め込まれている空調のファンコイルにフィルターがなく、長年の使用でたまった埃が水分を含み冷房が良好に行えず、また天井板が破損する恐れもあるため分解洗浄を実施した。 図書館協議会を運営し、3回会議を開催した。 西文化施設への移転に向けて調査・計画作成を行った。 上福岡図書館については、全館的な施設修繕が必要なので、計画的な修繕に向けて、令和4年度以降の3か年実施計画にて要求して令和5年度以降の実施を目指す。			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.00	2.00	1.80
		人件費	8,057	15,896	14,307
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		8,057	15,896	14,307	
事業費	報酬※	56	60	107	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	2,473	47	65	
	委託料	281,480	284,274	283,663	
	使用料及び賃借料	9,613	9,608	9,609	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	537	236	275		
支出合計		302,216	310,121	308,026	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	67	0	104
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	228	0	58
一般財源		301,921	310,121	307,864	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		2,636	2,711	2,640	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員(産休代替等除く)の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	貸出者数		
	説明	資料の貸出利用人数が身近な施設としての事業の成果を示す指標となる。		
活動	単位	人		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	246,000	252,000	255,000
	実績値	171,461	190,479	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>1 実績について</p> <p>(1) 令和2年度から上福岡図書館と大井図書館の一括した指定管理者による管理運営開始により、モニタリングを実施した。</p> <p>(2) 図書館協議会会議を3回開催した。</p> <p>(3) 上福岡図書館1階天井に埋め込まれている空調のファンコイルにフィルターがなく、長年の使用でたまった埃が水分を含み、冷房が良好に行えず、また天井板が破損する恐れもあるため、分解洗浄を実施した。</p> <p>(4) 西文化施設への移転に向けて調査・計画作成を行った。</p> <p>2 事業の効果について</p> <p>(1) 図書館サービスの維持・向上につながった。</p> <p>(2) 大井・上福岡両図書館の指定管理移行により民間活力導入の拡大を図ることができた。</p> <p>(3) 施設の適切な管理を図ることができた。</p> <p>(4) 会議室等の有料貸出開始により負担の公平化と受益者負担を図った。</p>
------------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	<p>ふじみ野市立図書館が「ミッション（使命）」とする「市民の暮らしが豊かになるよう、『知りたい、学びたい、楽しみたい』を支えます」を実現し、地域の情報拠点として市民の学びを支え、市民とともに歩む図書館を目指すために、次の事業が求められている。</p> <p>1 指定管理者による管理運営の実施とモニタリングによる図書館サービスの維持。</p>
中長期的方向性	<p>2 ボランティア・市民と協働した図書館事業の実施。</p> <p>3 小学校配置の学校図書館支援員を活用し、小中学校に導入した図書館システムパソコンを活用した図書館サービスの展開を図る。</p>
継続	<p>4 建築後25年以上経過している上福岡図書館施設の適切な維持管理を図るために計画的改修を行う。</p> <p>5 大井図書館の西文化施設への移転に向けて準備を行う。</p>